

令和2年8月4日

府中市教育委員会  
教育長 平谷 昭彦 様

府中市教科用図書採択地区  
選定委員会会長 小川 美樹

令和3年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る  
府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

府中市教育委員会から諮問されましたこのことについて、別紙のとおり答申します。

令和3年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書  
に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

令和2年8月4日

府中市教科用図書採択地区選定委員会

## 目 次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
中学校		
国 語	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
書 写	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
社 会（地理的分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
社 会（歴史的分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
社 会（公民的分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
地 図	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
数 学	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
理 科	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
音 楽（一般）	・・・・・・・・・・・・・・・・	30
音 楽（器楽合奏）	・・・・・・・・・・・・・・・・	32
美 術	・・・・・・・・・・・・・・・・	34
保健体育	・・・・・・・・・・・・・・・・	36
技術・家庭（技術分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	38
技術・家庭（家庭分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	40
英 語	・・・・・・・・・・・・・・・・	42
特別の教科 道徳	・・・・・・・・・・・・・・・・	46

はじめに

府中市教科用図書採択地区選定委員会は、令和2年6月2日府中市教育委員会から「令和3年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について」の諮問を受けて以来、4回の審議を行った。

また選定委員会は、広島県教育委員会の指導のもと、「府中市教科用図書調査員会」に、下記に示す「中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の調査研究の観点」による調査・研究を依頼し、その報告をもとに府中市の生徒の実態に即した教科用図書を選定するべく審議を重ねた。

学校教育は、学習指導要領に則り行われるものであるが、中学校学習指導要領においては、①知識及び技能が習得されるようにすること。②思考力、判断力、表現力等を育成すること。③学びに向かう力、人間性等を涵養すること。以上の基本方針を示している。

本答申は、文部科学省検定済教科書の中から府中市の21世紀を担う生徒が学ぶにふさわしい教科用図書の選定審議をしたものである。答申の趣旨をとらえていただき、府中市教育が一層充実するよう、確かな学力と豊かな心を育む教科用図書の採択をお願いしたい。

### 教科用図書調査研究の観点、視点

#### 【国語科】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元・教材の目標の示し方
	②	言葉の特徴や使い方に関する事項
	③	読書と情報の扱い方に関する事項
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	問題解決的な学習を実施するための工夫
	②	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元・教材等の配列
	②	伝統と文化に関する内容の記述
(エ) 内容の表現・表記	①	本文記述との関連付けがなされた図表等
	②	巻末資料の示し方
(オ) 言語活動の充実	①	考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫

#### 【書写】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
	②	姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元・教材や資料等の配列
	②	伝統と文化に関する内容の記述
(エ) 内容の表現・表記	①	配色、レイアウト等表現・表記の工夫

(オ) 言語活動の充実	①	学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
-------------	---	--------------------

### 【社会（地理的分野）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方
	②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
	③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	単元の導入における工夫
	②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列・分量
	②	防災教育の充実
(エ) 内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
	②	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
(オ) 言語活動の充実	①	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

### 【社会（歴史的分野）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方
	②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
	③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	単元の導入における工夫
	②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列・分量
	②	主権者育成のための工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
	②	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
(オ) 言語活動の充実	①	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

### 【社会（公民的分野）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方
	②	公民としての基本的教養を培うための工夫
	③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	単元の導入における工夫
	②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫

(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列・分量
	②	社会参画への意識を高める工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
	②	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
(オ) 言語活動の充実	①	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

### 【社会（地図）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	地図の活用をうながす工夫
	②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	思考力・判断力・表現力等を育むような工夫
	②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	題材や資料等の配列
(エ) 内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
(オ) 言語活動の充実	①	観察・調査や各種資料の活用の工夫
	②	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

### 【数学】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元の目標を達成するための工夫
	②	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
	②	問題解決的な学習を実施するための工夫
	③	見通しをもち、論理的に考察するための工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列
	②	発展的な学習に関する内容の記述
(エ) 内容の表現・表記	①	イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用
(オ) 言語活動の充実	①	数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫
	②	自分の考えをまとめ記述する活動の工夫

### 【理科】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方及び学習内容への入り方
	②	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
	③	観察、実験の技能を習得させるための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
	②	科学的に探究する力の育成を図る工夫

(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元の配列の工夫
	②	補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い
(オ) 言語活動の充実	①	観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫
	②	科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫

### 【音楽（一般）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	題材や学習目標等の示し方
	②	歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
	③	創作の基礎・基本の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
	②	音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	我が国の音楽に関する内容の扱い
	②	教材の配列及び分量
(エ) 内容の表現・表記	①	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
(オ) 言語活動の充実	①	表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫

### 【音楽（器楽合奏）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	題材や学習目標等の示し方
	②	器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
	②	和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	教材の分量及び構成
(エ) 内容の表現・表記	①	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
(オ) 言語活動の充実	①	器楽分野における言語活動の工夫

### 【美術】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	題材の目標等の示し方
	②	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
	③	形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
	②	表現と鑑賞の関連を図った学習活動
	③	生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	題材の配列
(エ) 内容の表現・表記	①	作品等についての示し方の工夫
(オ) 言語活動の充実	①	表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫

### 【保健体育】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元の目標、系統性の示し方
	②	健全・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
	③	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
	②	生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元・題材や資料等の配列
	②	発展的な学習に関する内容の記述の工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用
(オ) 言語活動の充実	①	思考し判断したことを、言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫

### 【技術・家庭（技術分野）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	目標の示し方
	②	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫
	②	学習過程の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	題材や資料等の配列
	②	実践的・体験的な学習を実施するための工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	各教科等と関連させて学習を進める工夫
	②	ユニバーサルデザインへの取り組み
(オ) 言語活動の充実	①	言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

### 【技術・家庭（家庭分野）】

採択基準	観 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	目標の示し方
	②	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫
	②	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	題材や資料等の配列
	②	実践的・体験的な学習を実施するための工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	各教科等と関連させて学習を進める工夫
	②	発展的な学習の扱い方
	③	ユニバーサルデザインへの取り組み



(オ) 言語活動の充実	①	言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
-------------	---	--

### 【英語】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方
	②	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	興味・関心を高めるための工夫
	②	単元等における振り返りの充実
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	小学校外国語科からの接続を図った構成・配列
(エ) 内容の表現・表記	①	巻末等資料の工夫
	②	学習到達目標の設定
(オ) 言語活動の工夫	①	対話的な学びを促す言語活動の工夫
	②	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫

### 【道徳】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方
	②	発問の工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	問題解決的な学習を取り入れた工夫
	②	体験的な学習を取り入れた工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	分量や教材の数
	②	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
(エ) 内容の表現・表記	①	巻頭等、巻末等の取扱いの工夫
	②	教材の内容を理解させる工夫
(オ) 言語活動の工夫	①	考えを伝え合う活動の工夫
	②	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	国語

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 単元・教材の目標の示し方
  - 言葉の特徴や使い方に関する事項
  - 読書と情報の扱い方に関する事項
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 問題解決的な学習を実施するための工夫
  - 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 単元・教材等の配列
  - 伝統と文化に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
  - 本文記述との関連付けがなされた図表等
  - 巻末資料の示し方
- ・言語活動の充実
  - 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	<p>○各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」を3つ設定し、3作品が掲載されている。各学年とも、同単元内に読書案内「本で世界を広げよう」「名作を読もう」と言語活動の教材が掲載されている。</p> <p>◎第2学年で「七十五歳以上の高齢者の運転免許証返納」「救急車を有料化するべきである。」など、話し合う活動において社会問題に関するテーマが設定されている。</p> <p>○「本編」と「基礎編」「資料編」の3部からなる。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内、『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成されている。</p> <p>○「基礎編」「資料編」として全学年に示している。</p> <p>○全学年巻末の「基礎編」に「対話的な言葉の力—伝え合う力」として、伝え合う力を培うための学習活動の手順が系統的に紹介されている。</p> <p>●主体的に学習に取り組むための工夫として、社会的な問題をテーマとして扱っているのがよい。</p> <p>●小中のつながりが考えられており、スムーズに移行できる配慮がある。</p>
15	三省堂	<p>○各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。</p> <p>○第2学年で「互いに支え合う共生社会をつくるために」「地域の魅力に迫るには、どんなテーマや視点があるか」など、話し合う活動において地域の特色に関するテーマを設定している。</p> <p>○「本編」と「資料編」の2部からなる。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書</p>

		<p>くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内、『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。</p> <p>○「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」が全学年に示している。</p> <p>◎各学年の第1単元に「グループディスカッション」を設け、系統的な内容にしている。</p>
17	教育出版	<p>○各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作者の紹介を掲載している。</p> <p>○第2学年で「災害への対処法」「不平等のない社会を考える」など、話し合う活動において持続可能な社会実現に向けたテーマを設定している。</p> <p>○古典教材は第5単元に配列し、単元末に「読むこと」を含んでいる。古文と現代語訳は、おおむね上下に分けて書いてある。</p> <p>○第1学年説明的な文章の3つの単元に使われている図表等の総計数は、21である。</p> <p>◎全学年巻末に活動ごとに「表現に役立つ言葉」の一覧を掲載している。</p>
38	光村図書	<p>○各学年とも、本編に、読書単元を2つ設定している。「読書生活を豊かに」は、「読書活動」「読書」「読書案内」「読書コラム」で構成されている。「読書に親しむ」は、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも「読書」掲載作品について、「続きはこちら」で書籍紹介をしている。</p> <p>◎第2学年において「ALTのマシュー先生に、町の散策コースを提案」「全ての中学生は、ボランティアをすべきである。」など、話し合う活動において地域や自分たちに目を向けたテーマを設定している。</p> <p>○古典教材は第6単元に配列している。第2学年では第1単元に『枕草子』、第3学年では第1単元に『学びて時に之を習ふ―「論語」から』が配列されている。</p> <p>○第1学年の説明的な文章の3つの単元に使われている図表等の総計数は、22である。</p> <p>○全学年巻末に『「学習の窓」一覧 豊かに表現するために』があり、話し合いでのポイントが整理されている。</p> <p>●それぞれの題材末にある「学習の窓」が巻末に一覧であり、指導内容が系統立てて整理されている。</p> <p>●小中のつながりが考えられており、スムーズに移行できる配慮がある。</p> <p>●主体的に学習に取り組むための工夫として、社会的な問題をテーマとして扱っているのがよい。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	書 写

教科書選定の観点

- ・ 基礎・基本の定着
  - 単元の目標の示し方
  - 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
- ・ 主体的に学習に取り組む工夫
  - 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
- ・ 内容の構成・配列・分量
  - 単元・教材や資料等の配列
  - 伝統と文化に関する内容の記述
- ・ 内容の表現・表記
  - 配色、レイアウト等表現・表記の工夫
- ・ 言語活動の充実
  - 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	○「目標」と明記して、小单元ごとに目標が示されている。 ◎「振り返って話そう」と表記して、学んだことを説明する活動が示されている。 ○平仮名の成り立ち、文字の変遷を扱っている。 ○「確かめよう」では、筆脈が点線で示されている。朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いが示されている。 ○第1学年では、「生活に広げよう」として「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」などの教材が設定されている。 ●どうやれば文字を美しくできるかを自分なりに論理的に考え、人に説明する構成となっているのは、新しい視点で協働的な学びにつながる。
15	三省堂	○「目標を確かめよう」のマークを小单元の最初のページに提示し、小单元ごとに、そのマークの下に目標が示されている。 ○单元末に「自分の言葉でまとめよう」では、学んだことが実際に活用できているかを確認し、学んだことを自分の言葉でまとめるように示されている。 ○平仮名の発生、「いろは歌」、「竹取物語」を扱っている。 ◎「書き方を学ぼう」では、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。行書の文字（朱墨）と、楷書（黒字）の文字が並べて示されている。 ○第1学年では「やってみよう」として、「グループ新聞を作ろう」などの教材が設定されている。
17	教育出版	○「目標」と明記して、小单元ごとに目標が示されている。 ○「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価を記入する欄が記載されている。 ○仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。 ◎「考えよう」では、筆順と筆脈を矢印や点線で示し、言葉で解説している。朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「変化」を示すアイコンと写真

		<p>で筆使いが示されている。</p> <p>○第1学年では「楷書と仮名を調和させて書こう」として、「学校生活に生かして書く『お薦めの本の帯やポップを作る』『ポスターを書く（ポスターセッション）』」などの教材が設定されている。</p>
38	光村図書	<p>○「目標」と明記して、小单元ごとに目標が示されている。</p> <p>○「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、観点に沿って自己評価を記入する欄が記載されている。</p> <p>◎第1学年：毛筆教材15、硬筆記入欄7＋書写ブック9ページ  第2学年：毛筆教材8、硬筆記入欄5＋書写ブック8ページ  第3学年：毛筆教材5、硬筆記入欄4＋書写ブック4ページ  資料編：41ページ、巻末折込1（上記のほかに、書写ブックに硬筆記入欄4ページ）</p> <p>○「②確かめよう」では、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。半紙原寸大の教材文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いが示されている。</p> <p>○第1学年では「【学校生活】目標を書こう」として、「学級スローガン」「個人目標」などの教材が設定されている。</p> <p>●別冊の書写ブックがあり、評価の視点と、実際の自らの学習活動を関連付けて自己評価をすることができる。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（地理的分野）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着  
 学習課題の示し方  
 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫  
 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
 単元の導入における工夫  
 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量  
 単元や資料等の配列・分量  
 防災教育の充実
- ・内容の表現・表記  
 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用  
 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
- ・言語活動の充実  
 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○A 考察内容は、自然環境、交通・通信、人口や都市・村落、産業、伝統的な生活・文化である。</p> <p>B 領土をめぐる問題をかかえる島々について、地理的な特色がつかめるように地図・写真が見開きで示され、理解しやすい。</p> <p>○第4章（最終章）「地域の在り方」の「身近な地域の課題を見つける」では、17の持続可能な開発目標（SDGs）の1つ「住み続けられるまちづくりを」に関連させ、グローバルな視点を持たせ取り組むことができる。</p> <p>○A 第1編世界と日本の姿にかかわるページ数が多く、巻頭ページにて、世界の自然や持続可能な社会の実現に向けた取り組みを取り上げることで世界の諸課題について問題意識をもって学習に入ることができる。</p> <p>B 第4章「地域の在り方」において、地域課題を踏まえた課題発見・解決学習が設けられている。</p> <p>○世界の各州の導入部分にイラストを使用した地図や自然や生活に関する写真を掲載し、日本の各地方の導入部分には各地方の「探究課題」に関連した写真を掲載することで、学習する地域のイメージを持てるよう工夫している。</p> <p>◎世界の各州・日本の各地方の学習の終結部に、「ウェビング」「トゥルーミン図式」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を記載している。</p> <p>●探究的な学びの流れがつかみやすい構成である。</p> <p>●思考ツールを効果的に使えば有効なものになる。</p> <p>●資料の提示によって、子供たちがスムーズに学習に入れたり、自分事となったりする工夫がある。</p>		

17	教育出版	<p>○考察内容は、自然環境、人口・都市・村落、歴史的背景・産業、交通や通信、伝統文化、自然環境である。日本の国境をめぐるさまざまな動きについて、地図・写真が示され、歴史的な経緯を示す年表があることで、対立の状況が理解しやすい。</p> <p>○第4章（最終章）に「地域の在り方」を設け、それまでの各地方で学んだ課題を復習しながらの学習が展開されている。グローバルな視点についてはここでは関連づけておらず、農村・都市の課題から見える課題解決の視点で展開されている。</p> <p>○第3編日本の様々な地域にかかわるページ数が多く、日本の諸地域についての知識をより多く得ることができる。 また、第4章「地域の在り方」において、地域課題を踏まえた課題発見・解決学習が設けられている。</p> <p>○世界の諸地域・日本の各地方の導入部分において各7～9枚ずつ学習内容と関連した写真を掲載している。</p> <p>◎単元のまとめに「学習のまとめと表現」を記載しており、これまで学習した内容をもとに課題に取り組むことで、主体的・対話的な学習を行うことができる。</p>
46	帝国書院	<p>○A 考察内容は、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市と村落、生活・文化、自然環境である。</p> <p>B 海に囲まれた日本の領域の特色として、国際法に基づく領土として歴史的な経過を地図や本文やコラムで示し、島と2国間の距離を明確に示すことで位置関係が理解できる。</p> <p>○第4章（最終章）に「地域の在り方」を設けている。序説で「学ぶにあたって」を提示し、「持続可能な社会を考え続ける」というテーマを掲げている。地方ごとの学習を復習できるような書き込むページが設けてあり、地図を活用するようなまとめ方の提示になっている。</p> <p>○A 4部構成となっており、第4部として地域の在り方を設けることで、地域について調べるだけにとどまらず、持続可能な社会と強く関連付けて学習することができる。</p> <p>B 第4部「地域の在り方」において、地域課題を踏まえた課題発見・解決学習が設けられている。</p> <p>○世界の諸地域・日本の諸地域では各節の冒頭に「イラスト地図」および「導入写真」ページが設けられている。</p> <p>◎「章（節）の学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに地理的な見方・考え方を働かせながら主体的・対話的に「章（節）」の問いを振り返ることで、深い学びにつなげることができる。</p>
116	日本文教出版	<p>○A 考察内容は、自然環境、人口や都市・村落、歴史的背景、産業、交通や通信、持続可能な社会づくり、自然環境である。</p> <p>B 日本の領域をめぐる問題をテーマに、「なぜ問題が起こっているのだろうか」という学習課題を提示している。島々の位置、国境の変化を示す地図、現在の情勢が理解しやすい記述となっている。</p> <p>○第4章（最終章）に「地域のあり方」を設けている。追究する手順を5つ分け、予め提示し、京都市を例としている。最後はまちづくり会議を開く発信機会をつくりやすい。</p> <p>○3編での構成となっており、巻頭ページには、地理の見方・考え方についてのページが設けられているため、各単元で重要となる視点をとらえやすくなって</p>

	<p>いる。</p> <p>また、第4章「地域の在り方」において、地域課題を踏まえた課題発見・解決学習が設けられている。</p> <p>○本文との関連が的確で、世界や日本の地域的特色を具体的にイメージできる地図・写真・グラフ・しくみ図等の図版を豊富に掲載している。特に地図については、読み取りや比較のしやすい地図表現を施すことで、読図を容易にしている。</p> <p>◎世界の諸地域・日本の諸地域において、州・地方の概要を大観し、そのうえで主題学習を進め、単元のまとめに「アクティビティ」に取り組むことで、単元全体で主体的・対話的で深い学びに向かうことができる。</p> <p>●中四国の単元で、南海トラフ巨大地震を想定し、各地域で行っている防災対策を扱っており、このような防災教育の視点は大切である。</p> <p>●思考ツールを効果的に使えば、有効なものになる。</p>
--	---



府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（歴史的分野）

教科書選定の観点

- ・ 基礎・基本の定着  
   学習課題の示し方  
   我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫  
   国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
- ・ 主体的に学習に取り組む工夫  
   単元の導入における工夫  
   課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・ 内容の構成・配列・分量  
   単元や資料等の配列・分量  
   主権者育成のための工夫
- ・ 内容の表現・表記  
   学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用  
   掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
- ・ 言語活動の充実  
   目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形文化遺産」のマークが付いている。また、巻頭の見開きに「日本の国宝・重要文化財」がまとめられている。神話・伝承等に関する事例数は5である。</p> <p>○見開き2ページにわたり、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、資料の読み取りやグループ学習について示している。また、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。</p> <p>◎A 総ページ304ページ。歴史との対話12、古代44、中世36、近世50、近代102、現代32、その他28である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点として、「第1章 歴史のとびら」の「1節 歴史をとらえる見方・考え方」に小学校の学習要領で示された42人の人物や文化財、出来事を振り返る活動が示されており、各単元（章）の導入部でも、小学校社会科で学習した内容を資料や年表で振り返る活動が示されている。</p> <p>C 「地域の歴史を調べよう」で「広島復興と平和への思い」というタイトルで、被爆地である広島の戦後の復興について調べる学習が設定されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真133、絵図85、地図33、図表・グラフ27、文書資料44、年表5、人物56であり、他分野（地理・公民）や他教科との関連が示されている。</p> <p>○「中世とはどのような特色を持つ時代だったのでしょうか」という問いに対して、</p>		

		<p>「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四側面から、自分の考えを文章にまとめる。文章にまとめる前に、思考ツールに考えをまとめるように促している。意見交換や、自分の考えの修正の方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校の学習内容を振り返る活動が示してあり、小中の学習のつながりが意識できる。</li> <li>●広島に係わる教材があり、生徒にとって身近に捉えることができる。</li> <li>●2次元コードを活用し、調べ学習の際などで、時代の流れやその背景をつかみ、イメージを持たせることができる。</li> </ul>
17	教育出版	<p>○資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。神話・伝承等に関する事例数は3である。</p> <p>○1ページを使い、絵図で歴史的が事象を示すとともに、年表でこれから学習する時代を示している。また、キャラクターの話し言葉から章の学習課題を導くよう構成している。さらに、見開き2ページにわたり絵図と絵図に係るキャラクターの問いを掲載している。</p> <p>○A 総ページ310ページ。歴史との対話15、古代42、中世36、近世50、近代108、現代36、その他23である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点として、「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」において小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産を振り返りながら、時代区分や年表の見方を確かめる活動や、身近な地域の歴史を調べる学習の例示などが位置づけられている。また、本文中に登場する人物について、小学校で学習した人物には「小学校」のマークを付けている。</p> <p>C 「歴史を探ろう」で「戦争の記憶をつなぐ人たち」という学習が設定されており、保存工事が行われた原爆ドームの資料が掲載されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真123、絵図86、地図28、図表・グラフ32、文書資料21、年表7、人物51であり、資料への問いかけが設定され、生徒の疑問を引き出している。</p> <p>◎「中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。文章でまとめる前に、古代と中世を比較した表を、「政治」「外国との関係」「文化」の視点でまとめる活動を設定している。</p>
46	帝国書院	<p>○日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数は、古代までが4、中世が4、近世が3、近代が7である。</p> <p>○導入の特設ページは設けられていないが、タイトル下に章の学習課題を示している。また、小単元の導入に「タイムトラベル」という見開き2ページの特設のページにより、絵図で歴史的な事象を示すとともに、絵図の人物を用いた年表を掲載している。資料読み取りの活動を示している。</p> <p>○A 総ページ306ページ。歴史との対話13、古代44、中世36、近世54、近代108、現代30、その他21である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点として、「第1部 歴史のとらえ方と調べ方」の「歴史をたどろう」や、節の冒頭に設けた時代を概観するイラスト「タイムトラベル」では、小学校で学習した人物や既習事項が示されている。</p> <p>C 「厳島神社」や「原爆ドーム」等、広島にあるものが資料として掲載されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真136、絵図85、地図40、図表・グラフ38、文</p>

		<p>書資料2、年表4、人物53である。</p> <p>◎「この時代はどのような時代だったかを、自分の言葉で説明しよう。」という問いに対して、自分が重視した歴史的な見方・考え方を明らかにして文章にまとめる。時代や特色をまとめる前に、2つの学習課題を設定している。(A身分や職業について、「タテ(支配)とヨコ(対等)の関係図を作ってみよう。」という問いに対して、図で自分の考えをまとめる。B「章の問いの答えを説明しよう。」という学習課題に対して、自分の考えをまとめる。)</p> <p>●地図の資料が充実しており、空間的な捉えができ、主体的に学べることができる。</p>
81	山川出版	<p>○資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。巻頭に「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。神話・伝承等に関する事例数は1である。</p> <p>○見開き2ページにわたり、年表で、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて示すとともに、単元全体に係る説明を掲載している。また、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を掲載している。</p> <p>○総ページ294ページ。歴史との対話9、古代48、中世40、近世52、近代100、現代30、その他15である。</p> <p>「地域からのアプローチ⑥広島」で「地図から原爆の被害を受けた広島を考えよう」や「歴史と文化が豊かな広島を世界遺産から考えよう」などの問いを示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真151、絵図86、地図35、図表・グラフ37、文書資料19、年表3、人物49であり、資料に関して考えてほしい課題が示されている。</p> <p>◎4つの立場(人)を示し、それぞれの立場で問いに対して、自分の考えを文章にまとめる活動が設定されている。「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定し、自分の考えは、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つに時代区分のそれぞれでまとめる。</p>
116	日本文教出版	<p>○資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。また、巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。神話・伝承等に関する事例数は3である。</p> <p>○調べる手順や方法については、「史跡見学に行こう 平城京跡を歩く」、「歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる」、「城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べる」等の項目で示している。記載の仕方については、各大単元において、「でかけよう!地域調べ」というコーナーを設け、調べ学習における、学習のポイントを示している。</p> <p>◎A 総ページ328ページ。歴史との対話8、古代50、中世42、近世52、近代102、現代38、その他36である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点として、「学習した人物:西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允・勝海舟」等、ページの左下に「連携コーナー」を設け、小学校の学習とのつながりを示している。</p> <p>C 「でかけよう!地域調べ」で「歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる」として、中世の港町・市場町として栄えた草戸千軒町遺跡を調べ、歴史新聞を作る活動が示されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真105、絵図78、地図35、図表・グラフ37、文書資料31、年表38、人物49であり、資料活用の視点が示されている。</p>

		<p>○「中世に定められた主な『法』に着目し、古代と比較しながら、中世の特色を考えていきましょう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる活動が設定されている。自分の考えを文章にまとめるために、3つのステップで学習を進めるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●年表が多く使用されている。</li> <li>●小学校との連携コーナーが設けてあり、小中の学習のつながりが意識できる。</li> <li>●福山市の草戸千軒町遺跡についての記載があり、生徒にとって学習内容を身近に捉えることができる。</li> </ul>
227	育 鵬 社	<p>○資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。また、巻頭や巻末で世界遺産や国宝を紹介している。</p> <p>○1ページを使い、絵図等で歴史的事象や、全ての歴史学習の中のどの期間の学習をするかが分かる年表や、キャラクターの言葉を掲載している。次の見開き2ページにわたり、絵図から武士の生活について読み取る学習活動を示している。</p> <p>○A 総ページ314ページ。歴史との対話13、古代50、中世34、近世52、近代102、現代33、その他30である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点としては、序章の「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」で、小学校で学習した歴史上の人物42人の似顔絵を活用することで、生徒が楽しく歴史学習を開始できるようにしている。</p> <p>C 「第5章 二度の世界大戦と日本」、「2節 第二次世界大戦終結までの日本と世界」において、原爆ドームの写真が掲載されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真89、絵図74、地図34、図表・グラフ36、文書資料17、年表10、人物77である。</p> <p>◎「この時代はどのような時代だったといえるのか」といった問いに対して、自分の考えを文章にまとめ、クラスで話合う活動が設定されている。（学習の手がかりとして、5つの活動を設定している。①年表の空欄に当てはまる言葉を選ぶ。②戦いについての整理をする。③この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。④歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選ぶ。⑤暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人物に関する資料が多い。</li> </ul>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（公民的分野）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 学習課題の示し方
  - 公民としての基本的教養を培うための工夫
  - 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 単元の導入における工夫
  - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 単元や資料等の配列・分量
  - 社会参画への意識を高める工夫
- ・内容の表現・表記
  - 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
  - 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
- ・言語活動の充実
  - 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	<p>○部活動を例に、「2年前の学校でのトラブルについて考えよう」「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。</p> <p>○持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。中学生が取り組んでいる身近な事例などから、より興味を抱かせている。持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。「持続可能な社会」形成のために解決すべき課題を5つのテーマの中から設定し、資料を集め、アクションプランの形でレポートにまとめさせている。</p> <p>◎『スキルアップ』『みんなでチャレンジ』として、計30項目を設定し、個人・グループの活動が提示されている。「政治参加をしてみよう」では、身近な地域の課題の把握・解決を通して考えを深めるとともに、まちづくりに参加する意識を育てられる活動が記載されており、効果的である。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(55)、写真(122)、地図(3)、表・グラフ(53)、新聞(12)、年表(2)、文書資料(12)、計259点を掲載している。</p> <p>○まとめの活動                      「導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面から考えました。A市、B市、C市から1か所選んで、あなたが出店した店で売る弁当について(1)～(6)を考えましょう。」とし、ウェビングを使って消費者のニーズを考え、商品開発の方針を立て、企画を発表し合い、「効率」や「公正」、「希少性」、「持続可能性」の観点から見て企画書をまとめる活動が</p>

		<p>記載されており、思考を深めるのに有効である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福山市神辺町が題材となっており、府中市の子供にとって身近に感じることができる。</li> <li>●具体的に選挙の流れが示されており、わかりやすい。</li> <li>●フォントが読みやすい。</li> <li>●自分事として、具体的に政治の仕組みを学べるような活動がある。</li> </ul>
17	教育出版	<p>○合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。</p> <p>○持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。持続可能未来のために私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成する中で、持続可能未来を実現するための探求の方法をSDGsの視点から掲載している。</p> <p>◎『言葉で伝え合おう』『公民の技』として、計16項目を設定し、収集した情報を批判的に読み取り、検証していく活動が提示されている。「まちづくりのアイデアを提言しよう」では、身近な地域の課題の把握から解決するための提案までの流れが示されており、考えを深めるのに効果的である。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(54)、写真(116)、地図(5)、表・グラフ(64)、新聞(5)、年表(3)、文書資料(8)、計255点を掲載している。</p> <p>○学習のまとめと表現</p> <p>3 第4章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。</p> <p>第4章「私たちの暮らしと経済」全体のテーマ</p> <p>「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」とし、自分自身と経済活動がどのように関わっているか、100字程度の文章にまとめ、これからの経済活動とはどうあるべきかを考え、課題や新たに出てきた疑問、さらに調べたいことを書き出す活動が記載されている。</p>
46	帝国書院	<p>○「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。</p> <p>◎大単元の導入において、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各章の導入部分で、学習課題を示し見通しをもたせている。</p> <p>○『アクティブ公民』『技能をみがく』として計20項目が設定され、ディベートやロールプレイングなど、課題の把握・解決に向けて効果的な活動を記載している。「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」では、自分が住むまちの予算案を考え、思考ツールを用いて意見を整理・発表する活動が示されている。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(45)、写真(81)、地図(1)、表・グラフ(54)、新聞(7)、年表(2)、文書資料(4)、計194点を掲載している。</p> <p>○章の学習を振り返ろう</p> <p>2 見方・考え方を働かせて考えよう</p> <p>「ステップ1 自分の考えを整理しよう」「ステップ2 意見交換を通して自分の考えを深めよう」「ステップ3 章の問いへの答えを理由とともに考えよう」とし、自分の考えを理由とともに説明し、グループで意見交換し、考えを深める活動が記載されている。</p>

116	日本文教出版	<p>○「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法について考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。</p> <p>○大単元の導入において、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各編の導入部分で、学習内容についての課題を設定し、見通しを示している。</p> <p>○『アクティビティ』『明日に向かって』『チャレンジ公民』として、計50項目が設定し、チャートやグラフの作成、話し合いの活動を記載している。「自分たちのまちの首長を選ぼう」では、まちの課題把握、公約づくり、投票する活動が示されている。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(62)、写真(106)、地図(3)、表・グラフ(66)、新聞(10)、年表(1)、文書資料(14)、計262点を掲載している。</p> <p>◎学習の整理と活用      ニュースを「見方・考え方」から見てみよう      「①労働組合が、給料などの労働条件について使用者と交渉する権利を、なんというでしょう。②福井市が、職員の給料を削減しなければならなかった理由を、「希少性」の語句を使って説明してみましよう。③どのような対立があり、どのように合意したか、まとめましよう。」とし、自分の考えを根拠とともに説明する活動が記載されている。</p> <p>●写真が多くて分かりやすい。</p>
225	自由社	<p>◎部活動を例に、文章で「体育館使用問題①ー対立」「体育館使用問題②ー合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③ー合意形成後の対立」「体育館使用問題④ー決まりをつくる」の順で示している。</p> <p>○持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「持続可能な日本社会をつくるため私たちに何ができるか」というテーマの卒業論文を作成するなかで、持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。</p> <p>○『もっと知りたい』として、21項目を設定し、テーマごとに問いかけを記載している。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(22)、写真(77)、地図(1)、表・グラフ(16)、新聞(4)、年表(0)、文書資料(2)、計122点を掲載している。</p> <p>○学習のまとめと発展      「第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。」とし、5つのテーマから1つを選んで、学習したことを生かしながら考えをまとめる活動が記載されている。</p> <p>●キャラクターが最後まで出てきて、子供たちにとって興味をもてる工夫がある。</p>
227	育鵬社	<p>○「昼休みのグラウンド使用について考えよう」という課題を、絵図で示している。</p> <p>○持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「よりよい社会」を築いていくための国づくり構想のレポート作成し、持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。</p> <p>◎『学習を深めよう』『やってみよう』として、計24項目を設定し、シミュレーション活動や話し合いの活動を記載している。「政治のこれから」では、自分の住むまちの特色と課題を調べ、グルーピングやランキングなどの思考ツ-</p>

	<p>ルを用いて考えを深める活動を記載している。</p> <p>○「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(43)、写真(105)、地図(3)、表・グラフ(36)、新聞(17)、年表(1)、文書資料(37)、計242点を掲載している。</p> <p>○経済のこれから</p> <p>「1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみましょう。」</p> <p>「2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを経営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を社員みんなで考えて、作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、SDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみましょう。」とし、話し合い活動やポスターツアーが記載されている。</p> <p>●自分ごととして、具体的に政治の仕組みを学べるような活動がある。</p>
--	--



府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（地図）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着  
 地図の活用をうながす工夫  
 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫  
 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量  
 題材や資料等の配列
- ・内容の表現・表記  
 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
- ・言語活動の充実  
 観察・調査や各種資料の活用の工夫  
 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○巻末の「日本の周辺」に近隣諸国を含む地理的環境を記載しており、領域の特色や領土をめぐる問題について理解を深めることができる。 ○読図のポイントや考察の視点をキャラクターの吹き出しで記載している。 ○中国・四国地方の基本資料・テーマ資料を記載しており、地域学習が行えるよう工夫がされている。 ○各地図について、さまざまな縮尺で記載している。	◎キャラクターの吹き出しで地図の活用方法や課題を探究するための問いを記載しており、問いに対応した主題図を示すことで収集した情報を用いた表現の例を知ることができる。	●資料が多いため、グラフや表等を活用して情報活用能力を育成することができる。 一方で、情報量が多く、取捨選択できない場合には情報を生かすきれない恐れがある。 ●地図帳と資料集をセットとして活用できる。 ●色が落ち着いており、高等学校地図帳の色彩に近い。
46	帝国書院	○巻末の「日本の領土とそのまわりの国々」に近隣諸国を含む地理的環境を記載しており、歴史的経緯を踏まえた日本の領域を正確に把握することができる。 ◎世界の各州には、自然環境や生活・文化・産業などのイラストを配した鳥瞰図を記載しており、地域的特色を視覚的にとらえることができる。 ○中国・四国地方の資料を記載しており、地域学習が行えるよう工夫がされている。 ○各地図について、さまざまな縮尺で記載している。	○「地図活用」や「学習課題」を記載しており、社会的な見方・考え方を働かせた学習活動の例を示すことで、主体的・対話的で深い学びに近づくことができ	

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●大きく印刷されているため、経度、緯度の数字が見えやすい。</li><li>●二次元コードが記載されており、授業だけでなく家庭学習でも活用できる。</li><li>●色が華やかで、小学校の色彩に近い。</li><li>●地図の活用を段階的に進めることができる。</li></ul>
--	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	数 学

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 単元の目標を達成するための工夫
  - 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 興味・関心を高めるための工夫
  - 問題解決的な学習を実施するための工夫
  - 見通しをもち、論理的に考察するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 単元や資料等の配列
  - 発展的な学習に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
  - イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用
- ・言語活動の充実
  - 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫
  - 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見 ○特徴    ◎最も顕著な特徴    ●意見
2	東京書籍	<p>○「例」ではつまづきやすい問題を取り上げたり、問題を解くための見通しを「考え方」として示したりしている。「例」と類似する「問」には◆印を付け、「例」を参考にできるようにしている。また、典型的な誤答を「間違い例」として取り上げている。</p> <p>◎日常生活における問題場面を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。社会で数学を活用している人を紹介した読み物を載せている。また、その人の仕事に関わる課題を取り上げている。</p> <p>○広島県に関する問題や写真は掲載されている。</p> <p>○2年「データの比較」では、イラストが4か所、写真が2枚、吹き出しが11か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭でノートづくり方を示している。また、各学年で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p>
4	大日本図書	<p>◎各学習内容の導入で、既習事項を示し、学習の手がかりになる問いかけを示している。例や問の横に既習事項を振り返る問題や解き方を示している。節末と巻末において、本文に戻ることができるよう関連する内容、ページ等を明記している。</p> <p>○日常生活における問題場面を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。仕事の中の数学を紹介する読み物を載せている。</p>

		<p>○発展的内容は単元内に9つ、巻末に1つ掲載されている。内容は「多項式を累乗する展開」「円に内接する四角形の性質・円と接線の性質」などがある。(3年)</p> <p>○2年「データの比較と箱ひげ図」では、イラストが2か所、写真が3枚、吹き出しが17か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭で「ノートの作り方」を示している。また、各学年で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p>
11	学校図書	<p>○「例」では、模範的な解答をノート形式で示したり、問題を解くための見通しや基になる概念等を「考え方」として示したりしている。また、定着度の低い問題の誤答を提示し、誤りやすい箇所を明確に示している。</p> <p>◎日常生活における問題場面を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活に活用できる題材を取り上げている。学習内容がどの職業に関連するかを載せている。数学の歴史を紹介した題材も載せている。</p> <p>○広島県に関する問題や写真は掲載されている。</p> <p>○2年「データの分布」では、イラストが3か所、写真が2枚、吹き出しが25か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○自分の考えを説明したり解決に向けて見通しを話し合ったりする活動ができるように工夫されている。</p> <p>●ノートの使い方を示した上で活動に取り組むと話し合いが仕組みやすい。</p>
17	教育出版	<p>○各学習内容の前に、既習事項を示し、「Q」で新しい問題と既習事項との関連を示している。問いの横に、定着を図る巻末問題のページ数などを示し、章末の問題の前に、学習した内容の簡潔なまとめを示している。節末において、本文に戻ることができるよう関連する内容、ページや例題番号等を明記している。</p> <p>◎日常生活における問題場面を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。社会や職業の中で、数学が活用されている例を紹介した読み物を載せている。</p> <p>○発展的内容は単元内に9つ、巻末に4つ掲載されている。内容は「負の数の指数を使った累乗の表し方」「散らばりの程度を表す新しい数値」などがある。(3年)</p> <p>○2年「データの分析」では、イラストが4か所、写真が10枚、吹き出しが29か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭でノートのつくり方を示している。また、各学年の巻末で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p>
61	啓林館	<p>◎「例」「例題」にタイトルをつけ、学習内容が分かるようにしている。「例題」では、解答がノート形式で記述してあり、解決の糸口を「考え方」として示している。「×誤答例」を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。</p> <p>○「場面の状況を整理し、問題を設定しよう→見通しを立てて、問題を解決しよう→問題をひろげたり、深めたりしよう」という問題解決の過程が示されている。</p> <p>○広島県に関する問題や写真は掲載されている。</p> <p>○2年「箱ひげ図とデータの活用」では、イラストが6か所、吹き出しが19か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭でノートのつくり方を示している。また、各学年の巻末でレポー</p>

		トの具体例が示されている。
10 4	数研出版	<p>◎「例」の解答を示し、自主学習にも支障がないようになっている。「例」に汎用性をもたせつつ、「例」と「問」の間に大きなギャップが出ないように配慮されている。また、キャラクターの疑問を通して、どのようなところに着目するかが分かるようになっている。</p> <p>○二人の生徒と先生の会話によって、問題解決の過程が示されている。</p> <p>○発展的内容は本冊に7つ、別冊に2つ掲載されている。内容は「三角形の重心と内心」「皆既日食と金環日食」などがある。(3年)</p> <p>○2年「データの活用」では、写真が5枚、吹き出しが33か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭で「ノートづくり方」を示している。また、各学年の巻頭で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p>
11 6	日本文教出版	<p>◎各学習内容の前に、既習事項や問題を示している。例題や問の横に、既習事項と関連付けて、その場面で身に付けたい数学的な見方・考え方等を示しているところがある。節末と巻末において、本文に戻ることができるよう関連する内容とページ、例題、問題番号を明記している。</p> <p>○日常生活における問題場面を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活の学習に活用できる題材を取り上げている。数学を仕事に生かしている人の話を取り上げている。</p> <p>○発展的内容は単元内に6つ、巻末に2つ掲載されている。内容は「関数 <math>y = 2^x</math>」、方べきの定理などがある。(3年)</p> <p>○2年「データの分布と確率」では、イラストが10か所、写真が3枚、吹き出しが32か所あり、問題場面が具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>○各学年の巻頭で「ノートのくふう」を示している。また、各学年の巻末で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p> <p>●土台を積み重ねていく教科なので、既習事項を想起させることができるのはよい。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	理科

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方
  - 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
  - 観察、実験の技能を習得させるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
  - 科学的に探究する力の育成を図る工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 単元の配列の工夫
  - 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
- ・内容の表現・表記
  - 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い
- ・言語活動の充実
  - 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫
  - 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見 ○特徴    ◎最も顕著な特徴    ●意見
2	東京書籍	<p>○単元の終わりに「つながる科学」、「章末」、「世界につながる科学」、「学習内容の整理」、「確かめと応用」が設定されている。大切な用語の復習から応用力の習得までサポートしている。</p> <p>◎学習内容に関して、発展的な内容を、日常生活や身近な自然現象との関連を図った読み物資料「From Japan 世界につながる科学」「つながる科学」を掲載している。</p> <p>○単元末問題が豊富に準備されており、基本問題と活用問題が設定されている。身近な生活に関係した発展的な内容や科学史を漫画で紹介しており、興味・関心を高める内容になっている。</p> <p>○巻頭に目次と関連させて2次元コードやURLを示し、インターネットを活用する場面を掲示している。安全のための注意や学習の過程を示すマークが一覧で示されている。</p> <p>○巻頭の「考えが異なっていたら、考えを言葉にして議論しよう」「伝わる言葉にしよう 発表のしかた」で話し合い活動の仕方が例示されており、巻末に「学びを広げよう 自由研究」で科学研究の取り組み方を示している。</p> <p>●タブレットの授業に対応した縦長の教科書は斬新である。</p> <p>●中身の配列も、流れが縦に配列され見やすいと感じる。</p> <p>●二次元コードが、空間認識能力など、教科書と黒板だけで理解するのが難しいときなどに活用でき、有効的である。</p> <p>●イラスト中心でわかりやすい。</p>

4	大日本図書	<p>◎単元の終わりに「探究活動」、「まとめ」、「単元末問題」、「読解力問題」、「つながる」が設定されている。基礎的な知識の復習から活用まで幅広くおさえている。</p> <p>○学習内容と日常生活や社会との関連を図った読み物資料「暮らしの中の理科」や、職業の具体を取り上げた「プロフェッショナル」などを掲載している。</p> <p>○単元末問題が豊富に準備されている。基本問題と、各單元ごとの読解問題が設定されている。学習内容に関する補充説明が、コラム形式で紹介されている。</p> <p>○巻頭の「理科の学習の進め方」に、教科書の構成や、使用しているマークの一覧で示している。</p> <p>○「結果の例」、「結果からわかること」により、実験の様子やその結果の文章表記の仕方を例示して、分析・解釈する視点を示している。</p> <p>●ページ数が他社に比べて大変多い。</p>
11	学校図書	<p>○単元の終わりに「学び続ける理科マスター！」と「学びを日常に活かしたら」という2種類のまとめが設定されており、単元の内容の深い理解と活用力を習得することをサポートしている。</p> <p>◎探究活動の進め方を、「課題→方法→結果→探究後のまとめ」というように段階的に紹介している。学習内容の理解を深めるための話題を載せた「サイエンスカフェ」を掲載している。</p> <p>○単元章末問題が豊富に準備されている。「学びを日常にいかしたら」では、学習内容の活用問題が生徒の会話形式で掲示されている。補充説明がコラム形式で紹介されている。</p> <p>○巻頭の「教科書の使い方」に、教科書の構成や、使用しているマーク、二次元コードの使い方が示されている。</p> <p>○巻頭の「探究の進め方」により、話し合い活動の仕方が例示されており、「この自由研究がスゴイ！」で科学研究の取り組み方を示している。</p> <p>●探究活動の進め方が示されている。</p> <p>●アイデアボードがあり、探究のまとめに活用できる。</p>
17	教育出版	<p>○観察や実験では、目的・準備・方法・結果と項目で示され、使用する器具や装置の操作などは「基礎技能」として本文とは区別されている。</p> <p>○学習内容に関して、日常生活とのつながりや社会と関連している科学技術の話題などの読み物「ハローサイエンス」を掲載している。</p> <p>○単元章末問題が豊富に準備されている。要点と重要用語の整理を2ページ、基本問題を2ページずつ掲載している。身近な生活と関連付けたコラムが多くある。</p> <p>○巻頭に安全のための注意や学習の過程を示すマーク、URLや二次元コードが一覧で示している。</p> <p>◎巻頭の「探究の進め方」により、話し合い活動の仕方が例示されており、巻頭にあるレポートの書き方や巻末の「自由研究」で科学研究の取り組み方を示している。</p>
61	啓林館	<p>○単元の終わりに「学習のまとめ」、「力だめし」、「みんなで探Qクラブ」が設定されている。基礎的な知識の復習から思考力を問う問題まで幅広くおさえている。</p> <p>◎幅広い視点で、日常生活に関連する科学コラム、「部活ラボ」、「お料理ラボ」、「お仕事ラボ」、「防災減災ラボ」、「深めるラボ」などを掲載している。</p> <p>○単元末問題は、学習のまとめ2ページ、力だめし4ページと多く準備している。</p>

	<p>学習の補足や、発展的な内容を、コラム形式で紹介している。</p> <p>○巻頭の「この教科書の使い方」「もくじ」に、教科書の構成や、安全のための注意、学習の過程を示すマーク、URLや二次元コードが一覧で示されている。</p> <p>○巻末の「探究の流れと探究の振り返り」により、話し合い活動の仕方が例示されており、巻末の「サイエンス資料」により科学研究の取り組み方を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●安全に関する内容が、大きく取り上げてまとめられている。</li><li>●学習の流れがイラスト等で表現され、一目見たら学習の流れが分かる。</li><li>●振り返りを問いの形で書かれているのは、分かりやすい。</li></ul>
--	---



府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	音楽（一般）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 題材や学習目標等の示し方
  - 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
  - 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
  - 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 我が国の音楽に関する内容の扱い
  - 教材の配列及び分量
- ・内容の表現・表記
  - 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
- ・言語活動の充実
  - 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
17	教育出版	<p>◎1年では「夏の思い出」と「赤とんぼ」、2・3年下では「花」と「荒城の月」等、関連のある楽曲を続けて掲載している。学習のポイント、楽譜、歌詞、作者の写真や紹介文等を掲載している。「A Message for you」や曲のゆかりの地、歌詞に関係のある情景の写真等を掲載している。</p> <p>○キャラクターの吹き出しを通して、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫がある。</p> <p>○1学年の鑑賞教材として、箏曲「六段の調」、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現、日本とアジアをつなぐ音、郷土のさまざまな民謡、歌唱教材として、「ソーラン節」、「かりぼし切り歌」、「この道」、「谷茶前」、「故郷（全校合唱）」を掲載している。</p> <p>○各学年とも、目次の次のページで主要教材について「学びのユニット」として音楽を形づくっている要素との関連を示すとともに、第1学年及び第2・3学年上では、「どんな特徴があるかな？」のページで、音楽を形づくっている要素の内容を掲載している。</p> <p>○共通するところや、それぞれのよさなどについて、「発表し交流してみよう。」と示し、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定をしている。</p> <p>●「くらべてみよう」や「深めてみよう」など、学習の視点やねらいが書かれていて、学習の流れがつかみやすい。</p> <p>●自己評価で、「気づいたこと」「みんなで考えたこと」など書けるような工夫がある。</p>		

27	教育芸術社	<p>◎7曲とも共通のタイトル「心の歌」として取り上げている。学習の目標、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を記載するとともに、「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」や曲に関する写真等を掲載している。</p> <p>○キャラクターの吹き出しを通して、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫がある。</p> <p>○1学年の鑑賞教材として、雅楽「平調 越天楽」一管絃一、箏曲「六段の調」、日本の民謡、郷土に伝わる民謡を調べよう、歌唱教材として、「越天楽」の唱歌を歌おう、「ソーラン節」、「涙そうそう」、「上を向いて歩こう」、「ふるさと（全校合唱）」を掲載している。</p> <p>○各学年とも、目次の次のページに、掲載するすべての曲について音楽を形づくっている要素との関連を示し、併せて各曲の見開き左ページ下にも示している。また、「音楽を形づくっている要素」のページを設け、具体例とともに掲載している。</p> <p>○「意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。」と示し、実際に音を出して音楽表現を高めていく場面の設定をしている。</p> <p>●絵で見て、音の高い、低い、言葉の長い、短いなどがわかりやすい。</p>
----	-------	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	音楽（器楽合奏）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着  
 題材や学習目標等の示し方  
 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
 興味・関心を高めるための工夫  
 和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫
- ・内容の構成・配列・分量  
 教材の分量及び構成
- ・内容の表現・表記  
 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
- ・言語活動の充実  
 器楽分野における言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
17	教育出版	<p>○各楽器の各部の名称、姿勢とかまえ方、奏法等を写真や図で示している。三味線の三線譜や箏の数字譜を取り入れている。楽曲数が多く、多彩な曲に触れることができるようになっている。</p> <p>○各楽器の「Let's Play」「Let's Try」で楽曲を演奏し、それぞれの楽器を使った創作活動へとつながっている。</p> <p>○①リコーダー ②篠笛 ③尺八 ④ギター ⑤箏 ⑥三味線 ⑦太鼓 ⑧アンサンブル曲集「Let's Play!」「Let's Try!」 ⑨名曲旋律集 ⑩資料で構成されている。</p> <p>○「合わせて演奏しよう」で取り上げている曲について、曲名の下に、音楽を形づくっている要素についての指導の工夫を示している。</p> <p>◎「速度や強弱等は、グループで話し合って確認しておきましょう。」「グループごとに発表してみよう。」と示し、表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定をしている。</p> <p>●いろいろな楽器が扱われており、生徒が選択ができることで、主体的な学習につながる。</p>
27	教育芸術社	<p>○各楽器の構造や種類、姿勢と構え方、奏法等を写真や図で示すと共に、「和楽器こぼれ話」「演奏を聴こう」「楽器を知ろう」のコーナーを設けている。箏と三味線では、五線譜に加え、一般的によく用いられる奏法譜（箏は家庭式縦譜・三味線は文化譜）を併記し、読み方を詳しく説明している。また、楽曲数が多く、多彩な曲に触れることができるようになっている。</p> <p>○各楽器の学習の最初に、「楽器を知ろう」があり、楽器の歴史や楽器の用いられるジャンル、庶民との関わりなどの記述がある。また、和楽器の学習では、それぞ</p>

	<p>れの楽器の演奏者からのメッセージが記載されている。</p> <p>○①アンサンブルセミナー ②リコーダー ③ギター ④箏 ⑤三味線 ⑥太鼓 ⑦篠笛 ⑧尺八 ⑨打楽器 ⑩アンサンブル曲集 ⑪楽器で Melody ⑫資料</p> <p>で構成されている。</p> <p>○目次の次のページに主要教材において音楽を形づくっている要素との関連について示すとともに、「アンサンブルセミナー」「アンサンブル」で取り上げている曲については、曲名の横に音楽を形づくっている要素について指導の工夫が示されている。</p> <p>◎「友達と話し合いながら曲全体のアーティキュレーションを決め、2つのパートに分かれて演奏しましょう。」と示し、表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定をしている。</p>
--	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	美術

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 題材の目標等の示し方
  - 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
  - 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 興味・関心を高めるための工夫
  - 表現と鑑賞の関連を図った学習活動
  - 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 題材の配列
- ・内容の表現・表記
  - 作品等についての示し方の工夫
- ・言語活動の充実
  - 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
9	開隆堂	○各題材を通して身につけたい力を3つ挙げて記号で示し、それぞれにつながる目標内容を記載している。 ○社会で活躍する4名の言葉を紹介し、美術の学びと生活や社会とのつながりについて示したり、3年間の学習のまとめとして社会における美術の役割や社会への広がりについて示したりしている。 ◎1学年の巻頭では、図画工作科とのつながりや、美術を学ぶ意義や目的を意識させる内容ではじまり、2・3学年の終末では美術の学習を通して培った見方・考え方や感じ方を生かして、これからの生き方や未来について考える構成になっている。 ○生徒作品やアイデアスケッチとともに、活動ごとに写真と説明文などを示し、学習の流れを紹介している。 ○A 身の回りにある例や生徒の作品、アイデアスケッチ及びコメントを記載したワークシートを例示し、発想・構想の方法を示している。 B 「学習のポイント」を記載することで、鑑賞の活動のポイントを端的に示している。 ●主体的に取り組むことができる構成である。		

38	光村図書	<p>○「鑑賞」と「表現」のマークを示して、それぞれの目標の達成に向けた活動の筋道を具体内容として示している。</p> <p>◎一つの題材の中で表現と鑑賞のアイコンを掲載し、相互に関連した学習の流れを示している。</p> <p>○美術1では、「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」というページを設け、小中のつながりを意識させ、美術を学ぶ意義や目的を確認しながら、生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感をもてるよう工夫している。</p> <p>○表現のほぼ全ての題材に、作品の発想を練るための具体的な手立てと、「みんなの工夫」と題して、2名の生徒の学習活動の過程を分けた写真を作者の言葉とともに紹介している。</p> <p>○A「ノートやスケッチブックを活用しよう」や「学習を支える資料」に「発想を広げる」のページを設け、言語活動例を複数示している。</p> <p>B 鑑賞のポイントが発問の文章で記載されている。</p> <p>●2名の生徒の学習活動の過程を作者の言葉とともに紹介している点は、生徒目線で作られており、つまずきのある子供の参考になる。質問をしながら授業を進められる点は、子供たちの学びに寄り添う内容である。</p> <p>●鑑賞・制作という流れは主体的に学ぶという点でよい。</p> <p>●写真(作品数)等、目から入る情報が多くあるのがよい。</p>
116	日本文教出版	<p>○全ての「表現」と「鑑賞」の活動のはじめの文に、〔共通事項〕へ着目するように促すコメントを示している。</p> <p>○A 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、彫刻作品と屏風絵作品を比較できるようになっている。</p> <p>B 作品とそれを見ている少年の写真を掲載することで、作品の大きさを実感できるようにしている。</p> <p>C 和紙のような風合いのある紙に印刷し、実際の作品の仕上がりに近づけている。</p> <p>D 一点透視図法などの作者の表現の工夫を、トレーシングペーパーに書き込めることで、実感を伴って理解できるようにしている。</p> <p>◎美術1では、「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」というページを設け、小中のつながりを意識させ、美術を学ぶ意義や目的を確認しながら、生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感をもてるよう工夫している。</p> <p>○表現のほぼ全ての題材に、作品の発想を練るための具体的な手立てと、「みんなの工夫」と題して、2名の生徒の学習活動の過程を分けた写真を作者の言葉とともに紹介している。</p> <p>○A「ノートやスケッチブックを活用しよう」や「学習を支える資料」に発想を広げる」のページを設け、言語活動例を複数示している。</p> <p>B 鑑賞のポイントが発問の文章で記載されている。</p> <p>●写真(作品数)等、目から入る情報が多くあるのがよい。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	保健体育

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
  - 単元の目標、系統性の示し方
  - 健全・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
  - 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 興味・関心を高めるための工夫
  - 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫
- ・内容の構成・配列・分量
  - 単元・題材や資料等の配列
  - 発展的な学習に関する内容の記述の工夫
- ・内容の表現・表記
  - 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用
- ・言語活動の充実
  - 思考し判断したことを、言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	<p>○関連する学習内容が、他のページにあることを示すマークを入れ、各単元のつながりを示している。</p> <p>◎各章に関連する道徳の価値項目が示されており、カリキュラム・マネジメントの視点で、教科を横断して授業を展開することができる。</p> <p>○すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。 例えば「章末資料（P 43）」に胎児を育てる母体の神秘—胎盤とへその緒—という資料が記載されている。</p> <p>○「見つける」の本文中に学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p>○「活用する」で、言語活動に係る学習活動について記載している。思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを設けている。</p> <p>●課題解決に向けて、多彩な資料や動画が充実している。</p> <p>●他教科との関連や保健の他学年の学習内容との関連が示されており、カリキュラム・マネジメントの視点において有効である。特に他教科とのつながりが充実している。</p> <p>●巻末資料が充実している。</p>

4	大日本図書	<p>◎各時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示している。見開き構成において、確実に身につけたい学習内容は左ページの本文にまとめ、本文に対応した資料を右ページに配置し、内容の理解につなげている。各章末で、〈重要な言葉〉をまとめ、重要語句や要点を再確認ができるようにしている。</p> <p>○章毎に小学校から高等学校までの学習の繋がりを示しており、学習を深めていけるような工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。 例えば「トピックス（P44）」にアンガーマネジメントについて掲載してある。</p> <p>○「やってみよう」の本文中に学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p>○「学びを活かそう」で、言語活動に係る学習活動について記載している。課題や事例をもとに考えを書く内容が掲載されており、記入欄を広く設けている。</p>
50	大修館書店	<p>○各時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示し、終末に「学習のまとめ」を設け、重要語句の意味を確認している。本文の内容の理解につながるようページ内に〔資料〕が記載されている。各章末で「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」が設けられている。</p> <p>○章扉に挿絵が多く、学習内容をイメージしやすくなっており、実生活と結びつけやすくなっている。</p> <p>◎すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。 例えば「保健の窓（P24）」にスマホ首と疲労について掲載してある。</p> <p>○「課題をつかむ」の本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p>○「課題をつかむ」「学習のまとめ」で、言語活動に係る学習活動について記載している。知識や考えをまとめたり、話し合ったりする活動を多く設定している。</p> <p>●いろいろな資料を、いろいろ視点から掲載されている。</p>
22 4	学研	<p>◎単元のページには、「学習の目標」から「まとめる・深める」までの1時間の流れが示されている。</p> <p>○各時間に「考える・調べる」が設定されており、実際に起きた過去の事例や、今後予想される出来事を想定した課題等、実生活につながる課題を設定している。</p> <p>○すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。 例えば「探求しようよ（P39）」に脳死と臓器移植について掲載してある。</p> <p>○「課題をつかむ」の本文中で学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p>○「課題をつかむ」「まとめる・深める」で、言語活動に係る学習活動について記載している。話し合う、表現するなどの言語活動を設けている。主に言語活動を含む学習活動には「言語」のマークを示している。</p> <p>●1時間の流れが示されており、授業づくりの参考になる。</p>



府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	技術家庭（技術分野）

教科書選定の視点

- ・基礎・基本の定着  
   目標の示し方  
   基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
   「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫  
   学習過程の工夫
- ・内容の構成・配列・分量  
   題材や資料等の配列  
   実践的・体験的な学習を実施するための工夫
- ・内容の表現・表記  
   各教科等と関連させて学習を進める工夫  
   ユニバーサルデザインへの取組み
- ・言語活動の充実  
   言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	<p>○基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>○各内容の最初のページ見開きで、左ページに「技術の見方・考え方」、右ページに「発見！技術の最適化」を掲載し、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示している。また、各内容第1章の最後に、「チェック技術の見方・考え方」を掲載し、気付いた技術の見方・考え方について、まとめることができるようにしている。</p> <p>○ものづくりの最適化など、ガイダンスに重きを置いている。</p> <p>◎中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マーク（26）で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。小学校の各教科等の学習内容との関連については「小学校」マーク（11）で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。</p> <p>○生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「活動」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」で示されている活動を取り上げている。</p> <p>●数は少ないが、二次元コードの内容が大変充実している。</p>

6	教育図書	<p>○基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>○各内容の最初のページ見開きで、各内容における技術の発展の具体例を取り上げるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について記載している。</p> <p>◎複合的な内容が充実している。</p> <p>○中学校の各教科等の学習内容との関連については「リンク」マーク（5）で示されており、関連する教科の記載がある。小学校の各教科等の学習内容との関連については「リンク」マーク（10）で示されており、関連する教科の記載がある。</p> <p>○生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。</p>
9	開隆堂	<p>○基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>◎ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」を掲載し、電気ストーブにおける技術の工夫やしくみを通して、「技術の見方・考え方」を示している。</p> <p>○材料と加工の技術に重点が置かれている。</p> <p>○実習例は、「身近な問題の発見」、「課題の設定」、「設計・制作」、「評価・改善」などの学習の過程ごとに枠囲いを行い、流れを図示している。</p> <p>○生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	技術家庭（家庭分野）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着  
目標の示し方  
基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫  
学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
- ・内容の構成・配列・分量  
題材や資料等の配列  
実践的・体験的な学習を実施するための工夫
- ・内容の表現・表記  
各教科等と関連させて学習を進める工夫  
発展的な学習の扱い方  
ユニバーサルデザインへの取組み
- ・言語活動の充実  
言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各内容とも、項目ごとに、「目標」マークを付け、目標を1つ又は2つ示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</li> <li>○「家庭分野のガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方をマークやイラストを用いて解説している。</li> <li>◎題材が、学習指導要領の内容のB衣食住の生活について、食、衣、住の順に3つに編立てして、A家族・家庭生活、C消費生活・環境とあわせて5編で示されている。</li> <li>○中学校の各教科等の学習内容との関連については「他教科」マークを示し、教科名、単元概要を示している。また、関連する他教科内容をコンテンツとしてみることができるものにリンクのマークを示している。</li> <li>○言語活動を取り入れた学習の示し方が5種類。（「活動」、「話し合ってみよう・話し合おう」、「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語活動を取り入れた学習の示し方は5種類と少ないが、自分たちで活動の視点を見つけていくという点においては、興味関心を持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京書籍の自己評価はA、B、Cなどで記入でき、短時間で簡潔にできる。</li> </ul>

6	教育図書	<p>○各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を1つ又は2つ示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</p> <p>○「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」として、生活の課題と実践のポイント、学習の流れ、実践例を示している。</p> <p>○題材は、A編 家族・家庭生活、B編 衣食住の生活、C編 消費生活・環境と示され、それぞれ1～6章で構成されている。</p> <p>○中学校の各教科等の学習内容や小学校の各教科等の学習内容との関連、および家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークを示している。各教科等の学習内容については、教科名、単元概要を示している。小学校の各教科等の学習内容との関連する内容があるものについては、掲載ページと内容を示している。</p> <p>○言語活動を取り入れた学習の示し方が13種類。  （「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「体験してみよう」、「聞いてみよう」、「発表してみよう」、「比べてみよう」、「つくってみよう」、「観察してみよう」、「思い出してみよう」、「試してみよう」、「まとめてみよう」）</p> <p>●言語活動を取り入れた学習の示し方が13種類あり、これらを上手に使うことができればよい。</p>
9	開隆堂	<p>○各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の欄を付け、目標を1つ又は2つ示している。</p> <p>◎「家庭分野のガイダンス」において、「生活の見方・考え方」として生活の営みに係る見方・考え方について解説している。</p> <p>○題材は、A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境と示され、それぞれ1～5項目で構成されている。また、それぞれの題材の最後に、持続可能な社会について扱うものが設定されている。</p> <p>○中学校の各教科等の学習内容や技術分野との関連については、「他教科・他分野」との関連マークを右頁上部に示し、教科名、単元概要を示している。家庭分野の他の学習項目や技術分野などに関連する内容があるものについては、「リンク」マークを示し、掲載ページと内容を示している。</p> <p>○言語活動を取り入れた学習の示し方が4種類。（「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」、「発表しよう」）</p> <p>●言語活動を取り入れた学習の示し方は4種類と少ないが、自分たちで活動の視点を見つけていくという点においては、興味関心を持って取り組むことができる。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	英語

教科書選定の視点

- ・基礎・基本の定着
  - 単元の目標の示し方
  - 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
  - 興味・関心を高めるための工夫
  - 単元等における振り返りの充実
- ・内容の構成・配列・分量
  - 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列
- ・内容の表現・表記
  - 巻末等資料の工夫
  - 学習到達目標の設定
- ・言語活動の充実
  - 対話的な学びを促す言語活動の工夫
  - 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○A Unitでは、目的・場面・状況を意識し、5領域をバランスよく活用することができるようになっている。</p> <p>B 既習文法が後の単元で使用されている。</p> <p>○単元冒頭に扉として、写真をもとに生徒とやりとりをし、題材内容への興味を高めるとともに、Unit本文前に、文法の「目的・場面・状況」を表す音と映像を見て、「気づき」を促すPreviewを設定している。</p> <p>◎A 1学期で指導するUnit1～5では、小学校で扱った内容を網羅し、文法として整理しなおすステージとなっている。また、該当Unitの見開きの最初は、小学校で習った表現を使う「話す」活動で導入を行う。</p> <p>B 広島原爆投下をモチーフにした生徒の心情にうったえるような題材を取り上げ、人権・平和や国際貢献などの道徳心を培うように配慮している。</p> <p>○巻末に、「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学年の5領域別の学習到達目標をStage1～Stage3まで示し、4段階で評価するようにしている。</p> <p>○各学期末に設定されているStage Activityでは5領域の統合を図った学習活動が設定されている。各Unitで学んだ知識・技能を活用させながら、表現力を育成することができる。(具体例:第3学年48ページ「My Activity Report」)</p> <p>●学んだことを生かしながら表現活動を行う構成になっている。</p> <p>●ユニット0として既習事項を学び直し、無理なく進めることができる。小中及び他学年のつながりを意識した構成となっている。</p> <p>●巻頭にSDGsの視点で「英語を通じて見直そう」という見開きのページがあり、実際にコミュニケーションを行う教科書で取り入れていることに良さがある。</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●巻末に小学校で身に着けること、各学年で身に着けることがチェックできるようになっていて良い。</li> <li>●探求リストが見やすい。</li> </ul>
9	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○A 各課で学んだ言語材料を活用したパフォーマンス活動を行うことにより、統合的な活動ができる構造になっている。</li> <li>B 既習文法が後の1単元で使用されている。</li> <li>◎単元冒頭に扉として、写真や簡単なリスニングで題材への興味付けを行うとともに、マンガ形式の短い対話で新出表現を理解する <b>Scenes</b> を設定している。</li> <li>○A 小学校での既習事項を確認するページを <b>Get Ready</b> のページとして13ページ(6時間分)確保している。小学校で慣れ親しんだ「場面を表す絵(マンガ)を見ながら、やり取りを聞く」活動を通して新出表現が学べるようになっている。</li> <li>B 広島に送られる折り鶴とその再生について知ることによって平和と正義を求め主体的に社会の形成に参画するきっかけを与えている。 (2学年 99ページから)</li> <li>○簡単な語句や文を用いて即興で話す練習ができる「巻末資料」と「付録」がある。「巻末資料」・クイック <b>Q&amp;A</b> (2学年年130ページ)・アイディアの広げ方(2学年136ページ)・いろいろな職業⑥・日本の祝日・学校行事⑧「付録」・アクションカード1～4</li> <li>○各単元末に <b>Interact</b> があり、単元で学習した内容を使って自己表現する活動が設定されている。目的や場面・状況が設定されており、生徒同士のやり取りを促すことができる。(具体例：目次の次ページ)</li> </ul>
15	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎A 1学年初期の段階から各 <b>Lesson</b> において、習得、活用のそれぞれの段階に応じた本文と言語活動を配置してあり、5領域をバランスよく育成できるようになっている。</li> <li>B 既習文法が後の1単元で使用されている。</li> <li>○A 単元冒頭の扉では、扉の写真や <b>Q&amp;A</b> を使ってレッスンの題材や場면을導入し、学習への動機付けをする設定をしている。</li> <li>B 「<b>Take Action!</b>」の「<b>Listen</b>」と「<b>Talk</b>」に、目的や場面、状況に応じて発信する活動を設定している。</li> <li>○A <b>Lesson 1～3</b> は小学校の既習事項の確認、中学校での学びへの接続になっており、まずは聞くこと、それからペアやグループで対話をしたり発表したりとスムーズに接続できるようなレッスン構成になっている。</li> <li>B 広島原爆や佐々木禎子さんの物語を通して、平和のために自分たちができることは何かを考えることができる単元がある。 (3学年 35ページ～)</li> <li>○簡単な語句や文を用いて即興で話す練習ができる「付録」がある。 「付録」 ・いろいろな単語(2学年 付録15) ・会話表現(付録44) ・ <b>Role-Play Sheet</b> (付録47)</li> <li>○各学期末に設定されている <b>Project</b> では、各 <b>Lesson</b> で学んだ知識・技能を統合的に活用させながら、表現力を育成することができる。(具体例：第3学年 32ページ「日本限定アイスクリームを提案しよう」)</li> </ul>
17	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○A <b>Lesson</b> では、目的・場面・状況を意識し、5領域をバランスよく活用することができるようになっている。</li> <li>B 既習文法が後の単元で使用されている。</li> <li>○単元の最初に単元目標を示し、単元末にまとめて振り返りを設けている。</li> </ul>

		<p>○A Lesson に入る前に6時間、リスニング中心の活動が設けられている。</p> <p>B Lesson 1～2は小学校既習の言語材料を活用した4技能5領域の活動が設定されている。</p> <p>C Reading 2 「My Prayer for Peace」で原爆投下3日後に運行を再開した広島路面電車の話や原爆を題材としたマンガ、2016年のオバマ大統領（当時）の広島訪問について読み、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養うとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようになっている。（3学年 92ページ～）</p> <p>◎簡単な語句や文を用いて即興で話す練習ができる「巻末資料」がある。</p> <p>・Activities Plus 「巻末付録」 Tips④活動用カード</p> <p>○各単元末に Review（本文の要約）と Task（リスニング・スピーキング）が設定されている。Task では聞き取った内容を話す活動につなげることができる。「やり取り」に係る学習活動は比較的少ない。（具体例：目次の前ページ）</p> <p>●やり取りに係る学習活動が少ない。</p>
38	光村図書	<p>○A Unit では、目的・場面・状況を意識し、5領域をバランスよく活用することができるようになっている。</p> <p>B 既習文法が後の単元で使用されている。</p> <p>◎A 単元冒頭の扉では、タイトルや絵・写真で題材への興味づけを図り、音声やスライドアニメで、ストーリーの概要を理解する設定をしている。</p> <p>B 「Daily Life」に、実社会に即したリアルで具体的なコミュニケーションの目的や場面・状況を設定している。</p> <p>○A 小学校で学習したことを振り返り、中学校の学びへとつなげるための導入教材 Let's Be Friends! から始まる。Unit 1～3は本文の一部をコミックのセリフ形式にして掲載し、小学校での音声を中心にした学びからの接続に配慮している。</p> <p>B 3年生の Unit 3 では生命を尊び、また国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、広島への修学旅行を通じて世界平和について考える構成になっている。（3学年 31ページ～）</p> <p>○簡単な語句や文を用いて即興で話す練習ができる「付録」と「帯教材」がある。</p> <p>「付録」 ・Your Coach ・リスニングを得意にしよう（45ページ） ・話す内容を詳しくしよう（62ページ） ・得意な話題を増やそう（136ページ）</p> <p>「帯教材」・その場でスピーキング Let's Talk! ・Active Words</p> <p>○帯教材「Let's Talk」に、自分自身や身近な話題について即興でやり取りする活動を設定している。</p> <p>●スピーキングに特化した特集のページがあり、即興的に会話につながる。即興的な対話につながる単語が多く、多くのページで記載されている。</p>
61	啓林館	<p>○A 複数技能を統合した言語活動が行えるようになっている。</p> <p>B 既習文法が後の単元で使用されている。</p> <p>○A 単元冒頭の扉で、Unit で扱うテーマや写真を掲載し、関連した質問を提示することで、生徒が題材に興味関心を持てる設定をしている。</p> <p>B 「Let's Talk」に、身近な場面の中で必要な情報を伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を設定している。</p> <p>○A Unit 学習に入る前に、小学校で学んだ英語を振りかえる学習が7時間設定されている。Unit の Part 1～3は文字・音声への慣れ親しみ、基礎的な知識・技能の習熟・活用・定着を目指したスモールステップによる学</p>

	<p>習が設定されている。</p> <p>B 原爆や「語り部伝承プロジェクト」の紹介文を読み、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようになっている。(3学年 33ページ～)</p> <p>○簡単な語句や文を用いて即興で話すことの練習ができる「付録」がある。「付録」 こんなときどう言うの？(6ページ) Word Box (136～143ページ)</p> <p>◎各単元末に Unit のテーマにそって短い文章を作り、グループやクラスで発表・やり取りする <b>Express Yourself</b> が設定されている。各 Unit で学習した話題を基点に自己表現活動につなげることができる。 (具体例：目次の次ページ)</p> <p>●学んだことを生かしながら表現活動を行う構成になっている。</p>
--	--



府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	特別の教科 道徳

教科書選定の視点

- ・基礎・基本の定着  
道徳科の学び方等の示し方  
発問の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫  
問題解決的な学習を取り入れた工夫  
体験的な学習を取り入れた工夫
- ・内容の構成・配列・分量  
分量や教材の数  
現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
- ・内容の表現・表記  
巻頭等、巻末等の取扱いの工夫  
教材の内容を理解させる工夫
- ・言語活動の充実  
考えを伝え合う活動の工夫  
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴      ◎最も顕著な特徴      ●意見
2	東京書籍	<p>◎巻頭折り込み3ページにわたって、ショートストーリーを用いて学習の流れをわかりやすく示している。</p> <p>○問題解決的な学習ができるよう、2時間扱いの教材を配置し、教材の冒頭にテーマを示している。</p> <p>○A 「いじめのない世界へ」を設け、いじめについて気づき考えさせるユニット教材や、付録にも「人権・いじめ」をテーマにした教材を掲載している。</p> <p>B (社会に開かれた教育課程) 広島「宮島」の内容を取り上げるなどして、郷土土の一員としての自分の考えさせるようにしている。</p> <p>C (小中一貫教育) 小学校で学習した教材を再度掲載している。</p> <p>○テーマや教材名の下にマークを使い、デジタルコンテンツ、関連して扱える教科があること、心情円を活用できることを示している。</p> <p>○教材文の一場面を役割演技することで、学習内容を自分のこととして捉えて考えを深めることができる「ACTION!」を設けている。</p>
17	教育出版	<p>○発問の記載箇所(冒頭の教材名の下) 発問の数(4)「学びの道しるべ」のコーナーに、「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色のマークとともに記載している。</p> <p>○問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。また、教材名の下に、問題意識をもたせるための問いを設</p>

		<p>けている。</p> <p>○A 「いじめに立ち向かう」を設け、いじめについて考えるユニット教材やいじめに立ち向かう行動を考えさせるコラムも提示している。</p> <p>B (社会に開かれた教育課程) 巻末の補充教材で、「地域の発展」「社会貢献」などについて考える教材を掲載している。</p> <p>C (小中一貫教育) 中学校での学習にスムーズに移行できるように、第1学年の1～10までの教材の本文の文字を大きくし、読みやすくしている。</p> <p>○目次及び該当教材の左下にマークを使い、「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について深く考えることができる教材を示している。</p> <p>◎教材の冒頭に導入の文章を設け、学習テーマを共有することで、対話的な学びを深めていくような工夫がある。</p>
38	光村図書	<p>○「道徳で何を学ぶの？」では4つの視点ごとに本書で学習する内容等が簡潔にまとめられており、各観点の巻頭で詳しく説明がされている。</p> <p>○「てびき」の「見方を変えて」の中で、演じるときや、演じる様子を見るときに意識するポイントを示して、役割演技を促している。</p> <p>○A 「いじめを許さない心について考える」ユニットを設け、学年の前半に配置し、教材と「深めタイム」で構成している。</p> <p>B (社会に開かれた教育課程) 「つなげよう」で日常生活の関連や他教科との関連を示し、さらに深く考えたり、自分の生活につなげられるようにしている。</p> <p>C 郷土の伝統文化を受け継いでいく意味について考えさせるようにしている。</p> <p>D (小中一貫教育) 第1学年では、授業開きの教材の後の第2教材に、小学校の学校生活との違いを考えられる教材を掲載している。全学年の補充教材に小学校での道徳での定番教材を掲載し、小学校の道徳の学びと連携し、深い学びにつながるようにしている。</p> <p>◎各学年の目次では、すべての教材名をシーズンごとのまとまりで色分けし、「学びのテーマ」に応じて複数のユニットとして示している。</p> <p>○巻末にシーズンごとに学びを振り返り、書き留めるページを設けている。</p> <p>●「自分の生活につなげられる」というまとめになっており、道徳のねらいとあっている。</p> <p>●各学年で「道徳で何を学ぶの？」が1年生から3年生まで記載されていることで、道徳でどのようなことを学ぶのか非常にわかりやすく示されており、主体的に学習に臨む姿勢が得られる。</p> <p>●巻末の振り返りにおいては対話的で、異なる意見の中から考えを深め、より良い意見をまとめていくという方向性が出ている。</p>

116	日本文教出版	<p>○見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目をイラストとともに示すなどして、学習の見通しを持たせている。</p> <p>○教材の後に「学習の進め方」のページを設け、どんな体験を通して何について考えるのかを分かりやすく示している。</p> <p>○A 扉ページ『いじめ』と向き合う」を設定し、いじめを直接的・間接的に扱った教材とコラムをユニット化し、年間で複数配置している。</p> <p>B (社会に開かれた教育課程) 地域の歴史から、未来につなげていくために郷土との向き合い方を考えさせるようにしている。</p> <p>◎目次及び教材名の右横、別冊「道徳ノート」の教材名の右横にマークを使い、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を扱う教材を示している。</p> <p>○教材の終わりに「学習の進め方」のページの「学習を深めるヒント」などで効果的な議論の方法を示している。</p> <p>●別冊を使って、テーマに沿って振り返りが書きやすくなっている。</p>
224	学研教育みらい	<p>○発問の記載箇所(教材文の終わり)発問の数(2)「主として集団や社会とのかかわりに関すること」を表す青色の枠の中の「考えよう」のコーナーに、マークとともに記載している。</p> <p>○問題解決的な学びができるよう、教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。</p> <p>○A いじめ防止につながる教材とともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアップ」を設けている。</p> <p>B (社会に開かれた教育課程) 被災地復興に向き合うことから、郷土のためにできることを考えさせるようにしている。</p> <p>C (小中一貫教育) 生徒の発達的特質を考慮して、学年が上がるごとに系統性をもって学習がつながっていくようにしている。</p> <p>◎ユニットにテーマ毎に色で囲み、マークで示している。</p> <p>○教材の終わりの「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。</p>
232	廣あかつき	<p>○巻頭「自分を見つめよう」では道徳科の授業の受け方や学習の深め方等について5つの視点で示している。</p> <p>○問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設け、めあてを示し、それに迫るための問いを設けている。</p> <p>○A いじめ防止につながる教材とともに、いじめ防止につながる特集「thinking」を設け、巻末にも特集「いじめを許さない心」を設けている。</p> <p>B (小中一貫教育) 学年段階を考慮して、第1学年は全ページ文字サイズを大きくしている。</p> <p>○掲載しているすべての教材名を、4つの視点で色分けし、内容項目別に整理している。</p> <p>◎別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標に</p>

		ついでに振り返りを書く欄と、教材ごとの学習の振り返りをチェックする折り込みのページを設けている。
--	--	--